

# 環境経営レポート

2022年度版

活動期間：2022年4月～2023年3月



## 近畿地区スバルグループ

大阪スバル株式会社  
京都スバル自動車株式会社  
滋賀スバル自動車株式会社  
兵庫スバル自動車株式会社



作成：2022年 7月 1日

## 【1】 会社概要

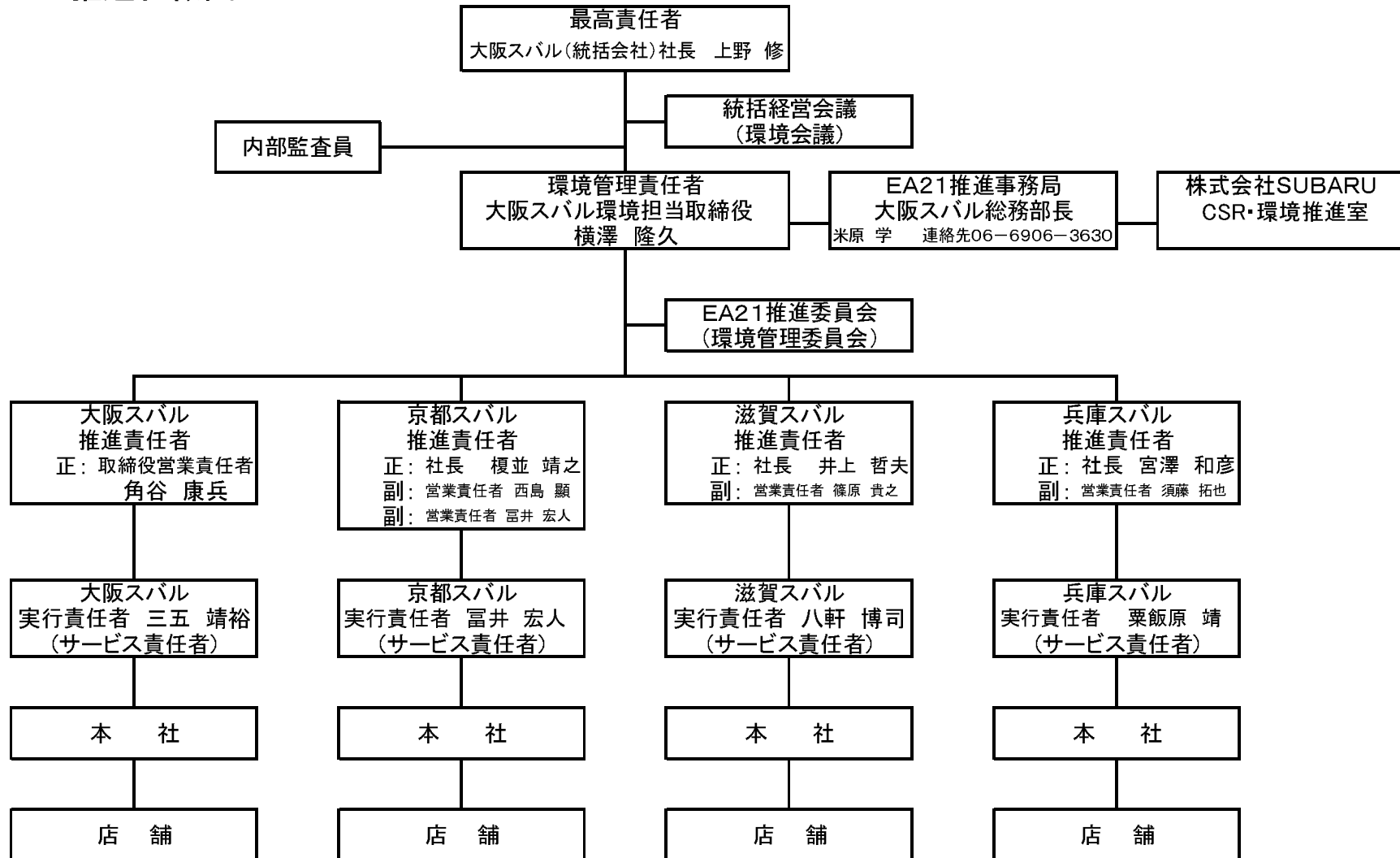
事業所名	近畿地区スバルグループ 総計	大阪スバル株式会社 (統括会社)	京都スバル自動車株式会社	滋賀スバル自動車株式会社	兵庫スバル自動車株式会社	
所在地	大阪府守口市八雲東町1-21-23	大阪府守口市八雲東町1-21-23	京都市南区吉祥院石原堂ノ後西町5	草津市野路4-7-2	神戸市灘区岩屋中町2-2-7	
代表者氏名	大阪スバル(株)代表取締役社長 京都スバル自動車(株)取締役会長 滋賀スバル自動車(株)取締役会長 兵庫スバル自動車(株)取締役会長 上野 修	代表取締役社長 上野 修	代表取締役社長 阿部 欣也	代表取締役社長 井上 哲夫	代表取締役社長 宮澤 和彦	
事業の規模	売上高	57,674百万円	28,806百万円	6,413百万円	5,271百万円	17,184百万円
	新車販売	11,657台	5,903台	1,338台	1,041台	3,375台
	中古車販売	7,937台	3,875台	848台	814台	2,400台
	従業員数	1,228名	602名	151名	126名	349名
	事業所数	69店舗	32店舗	8店舗	8店舗	21店舗
		新車	55店舗	25店舗	7店舗	7店舗
	中古車	12店舗	5店舗	1店舗	1店舗	5店舗
	その他	2店舗	2店舗	—	—	—

※売上、販売台数は2022年度実績、従業員数は2023年3月末日、店舗数は5月末現在

### 事業活動内容

- |           |               |                     |
|-----------|---------------|---------------------|
| ①自動車の販売   | ③部品・用品の販売及び修理 | ⑤損害保険代理業            |
| ②中古自動車の販売 | ④自動車の修理       | ⑥自動車損害賠償保険に基づく保険代理業 |

# EA21推進組織図





## 【2】 環境経営方針

### 環 境 経 営 方 針

#### 《基本理念》

当グループは独創と先進の開発コンセプトでお客様からご好評をいただいているスバル車の普及と「ご愛用者に充実したカーライフを安心して楽しんで頂くためのサービスの提供」を企業目的としています。

当グループはこの企業目的を遂行していく中で、企業として果たすべき責任が数多くあることを認識していますが、今や、環境経営が第一にランクされるべき責任と理解しています。

当グループは「循環型社会の形成に貢献する近畿スバルグループ」として地球環境の保全を考えながら地域社会と地域の人に優しい環境づくりに努め、豊かな未来の実現に寄与することを目指します。

ここに循環型社会の形成は私たち企業市民に課せられた使命と認識し、継続的な環境保全に努めることを宣言します。

#### 《基本方針》

この理念のもと、当グループが行なう自動車および部品の販売、整備、修理、保険業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、その課題を明確にして以下の環境経営活動を推進します。

1. 顧客満足度向上に繋がる商品、サービスを提供します。
2. 事業活動の全領域で、省資源、省エネルギー（CO2削減を含む）、リサイクル、公害防止に配慮した活動を行ないます。
3. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境マネジメントシステムと環境パフォーマンスが継続的に改善できるように推進します。
4. 適用する環境関連の法規制、条例、及び当グループが同意するその他の要求事項を遵守します。
5. 特に次の環境保全に繋がる重要項目に対して、環境経営目標を設定し取組み、必要があれば見直しを行ないます。
  - ①お客様とのコミュニケーションの強化
  - ②環境負荷低減に資する商品、サービスの販売推進
  - ③省エネルギーの推進（電力使用量、燃料使用量）
  - ④省資源（水使用量、紙使用量）
  - ⑤廃棄物の排出抑制と適正処理（一般廃棄物及び産業廃棄物排出量削減）
  - ⑥化学物質管理の強化（PRTR法関連、VOC対策）
6. この環境方針をグループ全従業員に周知し、教育活動を推進します。

2018年12月1日制定

2022年4月1日改定

大阪スバル株式会社（近畿地区スバルグループ統括）

代表取締役社長 上野 修

### 【3】 2022年度環境経営目標



当グループは環境負荷が大きい《エネルギー使用量》の把握をし、削減活動に繋がります。削減目標は各目標項目毎に毎年度1%に設定し、特に電力並びにガソリンについては、各社別の削減目標を設定し取り組みます。

- ・電力使用量の毎年度削減目標(大阪:△1.0%、京都:△1.0%、滋賀:△1.0%、兵庫:△1.0%)
- ・ガソリン使用量の毎年度削減目標(大阪:△0.5%、京都:△0.5%、滋賀:△0.5%、兵庫:△0.5%)

また、本来業務である整備業務において、環境負荷低減に繋がる営業活動を行います。

- ・点検バックの付保率(車検時)について各社別に毎年度1%向上

#### (1) 環境負荷の状況及び環境目標

##### 【近畿地区スバルグループ】

項目	単位	基準年度 (2021年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				2022年度	2023年度	2024年度	
点検バック付保率(車検時)アップ	%	73.3%	+1.0%	74.3%	75.3%	76.3%	
電気使用量	kWh	6,681,470	-1.0%	6,614,655	6,547,841	6,481,026	
燃料	ガソリン	リットル	389,730	-0.5%	387,781	385,833	383,884
	灯油	リットル	2,514	-1.0%	2,489	2,464	2,438
	軽油	リットル	20,214	-1.0%	20,012	19,809	19,607
	LPG	m3	8,869	-1.0%	8,780	8,691	8,603
	都市ガス	m3	53,289	-1.0%	52,756	52,223	51,690
水使用量	m3	44,993	-1.0%	44,543	44,080	43,631	
産業廃棄物	トン	1,521.8	-1.0%	1,506.6	1,491.4	1,476.2	
一般廃棄物	トン	219.3	-1.0%	217.1	214.9	212.7	
化学物質	kg	192.0	-1.0%	190.1	188.2	186.2	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	4,038,038		3,181,965	3,154,394	3,126,822	

##### 【大阪スバル】

項目	単位	基準年度 (2021年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				2022年度	2023年度	2024年度	
点検バック付保率(車検時)アップ	%	70.9%	+1.0%	71.9%	72.9%	73.9%	
電気使用量	kWh	3,630,305	-1.0%	3,594,002	3,557,699	3,521,396	
燃料	ガソリン	リットル	173,683	-0.5%	172,815	171,946	171,078
	灯油	リットル	396	-1.0%	392	388	384
	軽油	リットル	3,068	-1.0%	3,037	3,006	2,976
	LPG	m3	158	-1.0%	156	154	153
	都市ガス	m3	21,654	-1.0%	21,438	21,221	21,005
水使用量	m3	24,323	-1.0%	24,080	23,824	23,581	
産業廃棄物	トン	704.4	-1.0%	697.4	690.3	683.3	
一般廃棄物	トン	75.5	-1.0%	74.7	74.0	73.2	
化学物質	kg	93.0	-1.0%	92.1	91.1	90.2	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	2,038,089		1,574,068	1,560,205	1,546,342	

##### 【京都スバル】

項目	単位	基準年度 (2021年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				2022年度	2023年度	2024年度	
点検バック付保率(車検時)アップ	%	70.9%	+1.0%	71.9%	72.9%	73.9%	
電気使用量	kWh	668,962	-1.0%	662,272	655,583	648,893	
燃料	ガソリン	リットル	35,874	-0.5%	35,695	35,516	35,336
	灯油	リットル	0	-1.0%	0	0	0
	軽油	リットル	4,298	-1.0%	4,255	4,212	4,169
	LPG	m3	8,503	-1.0%	8,418	8,333	8,248
	都市ガス	m3	19,407	-1.0%	19,213	19,019	18,825
水使用量	m3	3,585	-1.0%	3,549	3,513	3,477	
産業廃棄物	トン	175.8	-1.0%	174.0	172.3	170.5	
一般廃棄物	トン	25.6	-1.0%	25.3	25.1	24.8	
化学物質	kg	99.0	-1.0%	98.0	97.0	96.0	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	479,325		392,826	389,279	385,732	

【滋賀スバル】

項目	単位	基準年度 (2021年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				2022年度	2023年度	2024年度	
点検バック付保率(車検時)アップ	%	72.3%	+1.0%	73.3%	74.3%	75.3%	
電気使用量	kWh	657,933	-1.0%	651,354	644,774	638,195	
燃料	ガソリン	リットル	39,874	-0.5%	39,675	39,476	39,276
	灯油	リットル	1,357	-1.0%	1,343	1,330	1,316
	軽油	リットル	96	-1.0%	95	94	93
	LPG	m3	67	-1.0%	66	65	65
	都市ガス	m3	43	-1.0%	43	42	42
水使用量	m3	4,076	-1.0%	4,035	3,994	3,954	
産業廃棄物	トン	34.0	-1.0%	33.6	33.3	32.9	
一般廃棄物	トン	24.5	-1.0%	24.3	24.0	23.8	
化学物質	kg	-	-	-	-	-	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	382,915		298,781	296,230	293,680	

【兵庫スバル】

項目	単位	基準年度 (2021年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				2022年度	2023年度	2024年度	
点検バック付保率(車検時)アップ	%	78.0%	+1.0%	79.0%	80.0%	81.0%	
電気使用量	kWh	1,724,270	-1.0%	1,707,027	1,689,785	1,672,542	
燃料	ガソリン	リットル	140,298	-0.5%	139,597	138,895	138,194
	灯油	リットル	761	-1.0%	753	746	738
	軽油	リットル	12,751	-1.0%	12,624	12,496	12,369
	LPG	m3	141	-1.0%	140	138	137
	都市ガス	m3	12,184	-1.0%	12,062	11,941	11,819
水使用量	m3	13,009	-1.0%	12,878	12,748	12,618	
産業廃棄物	トン	607.7	-1.0%	601.6	595.5	589.4	
一般廃棄物	トン	93.7	-1.0%	92.8	91.9	90.9	
化学物質	kg	-	-	-	-	-	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	1,137,710		916,290	908,680	901,069	

※CO<sub>2</sub>排出係数は、関西電力公表の実排出係数0.311kg-CO<sub>2</sub>/kWhにて算出。

※産業廃棄物は廃油、廃バッテリー、廃バンパーを含まない。

※化学物質はエチルベンゼン、トルエン、キシレンを対象としています。兵庫スバル、滋賀スバルは钣金工場がない為目標値はない。



写真:近畿地区サービス技術コンクールの様子



## 【4】2022年度環境経営目標及び環境経営計画

2022年度は、エコアクション21活動を含めたSDGSの宣言に向けて近畿地区全体で検討を始め、また社員の健康管理への配慮、コロナ感染防止のお客様対応の徹底も含めた健康経営優良法人の認定に向け、以下の取組みを実施してまいります。

### (1) 環境負荷低減に資する商品の提案販売、取組み推進

#### ①エコカー台数の拡大

燃費基準達成のエコカーについて、販売台数の拡大を図ります。(対前年比100%以上)

#### ②点検パック付保率アップ(車検時)

引き続きお客様のお車の車検入庫の際に点検パックの提案販売を推進し、整備不良による環境負荷増大を防ぎます。(2022年度:74.3以上を目指す)

#### ③社会貢献活動による環境負荷低減

自動車専門学校への定期的なメカニック講師の派遣、最新の整備についての講習を継続的に実施していき、整備業界の魅力の提供を図り、将来の整備士人口の確保に寄与し、環境負荷の低減に繋げてまいります。

#### ④交通安全の普及

引き続き地域の小・中・高生の職場体験学習を受入れし、アイサイト付車の同乗体感の経験等を通じて交通安全について学び、環境負荷低減意識の醸成に努めてまいります。

### (2) 電気使用量削減

全社にて以下の取組みを実施し、使用量削減および目標達成を目指します。

- ・稼働日の縮小(250日)・ノー残業デー取組実施(月2日間)
- ・事務所、工場の照明や設備・機器の節電
- ・広告塔照明・外構照明・ショールームオープン時間短縮
- ・クールビズ(5月~10月)、本社間接部門エコビズ(11月~4月)運動の継続
- ・冷暖房室温管理の徹底(冷房28℃、暖房20℃)
- ・エアコンフィルターとエバポレーターの定期的な点検・清掃の実施
- ・シートシャッター設置による空間温度安定確保  
(大阪スバル:八尾店・新大阪店・田辺店、京都スバル:舞鶴店  
兵庫スバル:西宮国道2号店、西宮171号店、学園南インター店、宝塚店、  
鈴蘭台店、明石店、灘店、豊岡店)

### (3) 燃料使用量の削減

CO2排出に大きく影響するガソリンを中心に以下の取組みを推進し、使用量削減に繋がります。

- ・TV会議・Web会議のさらなる活用強化による移動燃料の削減
- ・効率的な営業活動、納車・引取の有料化。
- ・社用車(代車、試乗車)の運行管理の徹底
- ・店舗毎のガソリン使用用途別管理の徹底
- ・個人別ガソリン使用量管理の徹底
- ・エコ安全5か条推進(ふんわりアクセル、早めのアクセルオフ、加減速の少ない運転、  
余裕をもった車間距離、細やかな空気圧チェック)

又、効率的なキャリヤカーの使用による軽油使用量の削減や灯油、都市ガス、LPGガスについても引き続き使用量削減を目指します。

### (4) 水道水使用量削減

以下の取組みを継続推進することで使用量の削減を図ります。

- ・洗車、工場清掃、洗濯時の使用配慮等拠点節水意識の強化
- ・店舗別使用実績管理の徹底
- ・門型洗車機入替時に節水タイプを導入
- ・トイレ自動手洗いの導入推進

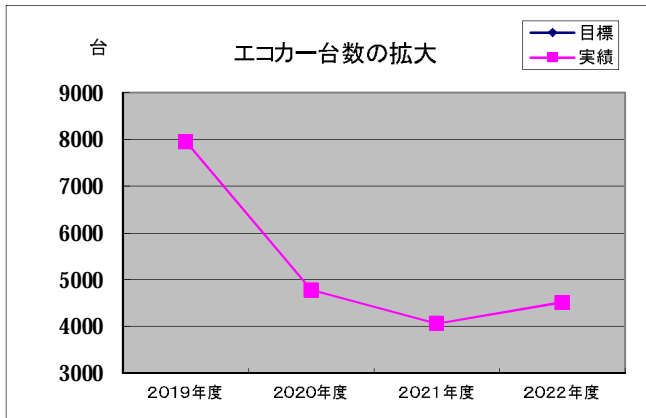
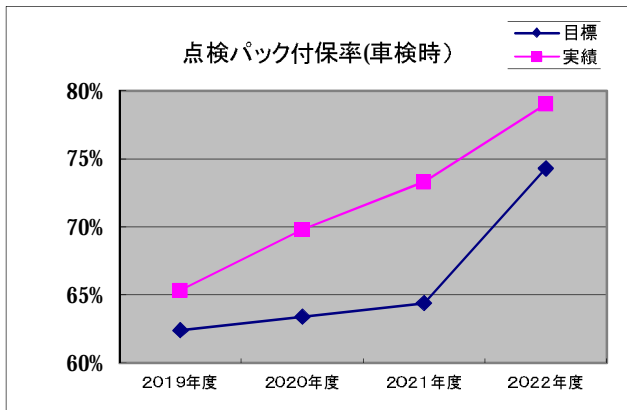


- (5) 産業廃棄物の削減  
以下の取り組みを推進し排出量の削減に繋がります。
- ・ 分別再資源化の取組みの徹底
  - ・ 各社別、各店舗別の削減目標の設定と進捗管理
  - ・ 廃バッテリー、廃アルミホイールの有償販売の推進
- (6) 一般廃棄物の削減  
紙の使用量については、引き続き TV 会議システム、Web 会議、i Pad での資料閲覧、グループウェアの活用によりペーパーレス化の徹底、また可燃ごみについても店舗努力を推進し目標達成を目指します。
- (7) 化学物質使用量の削減  
鍍金塗装における水性塗料使用の定着化と無駄のない適正在庫管理の徹底、メカニックの技術力向上を図り、化学物質（エチルベンゼン、トルエン、キシレン等）の使用量削減を目指します。
- (8) フロン排出抑制  
店舗におけるエアコンについて日常的、定期的な点検を引き続き実施し、効率的な使用と、フロン漏洩防止に繋がります。
- (9) 環境関連法規制の遵守  
環境関連法規制並びに環境に対する社内基準に未遵守がないよう取り組みます。
- (10) 環境教育の実施  
若年の店舗責任者や管理職、新入社員への環境教育を継続的に実施し、グループ全体の環境意識の底上げを図っていきます。
- (11) 二酸化炭素排出量の削減  
2022年度についても引き続き、特にCO2排出に大きな影響がある電力や燃料系ガソリンについて注力しながら上述の基本的な取組みを継続的に実施していくことで、総使用量の削減およびCO2排出量の削減を目指す。  
併せて総量での削減のみならず、原単位レベルでの使用量削減にも着目し、近畿地区スバルグループ全体のCO2削減に取り組んでまいります。

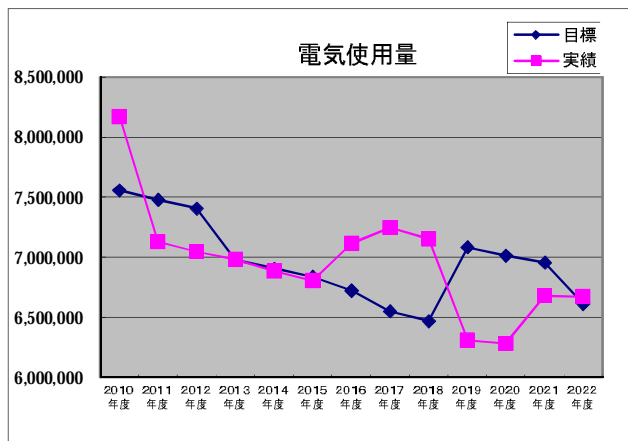




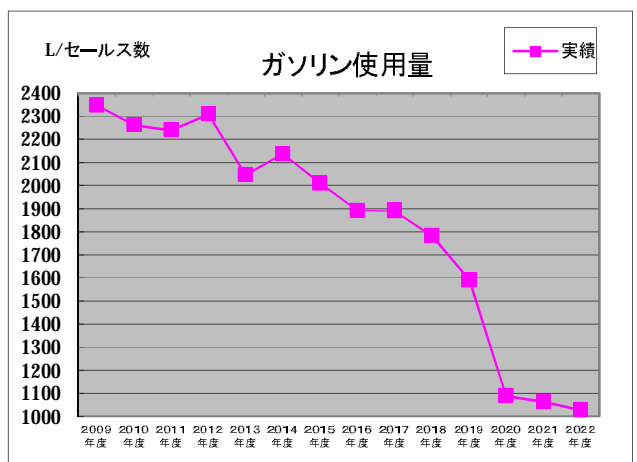
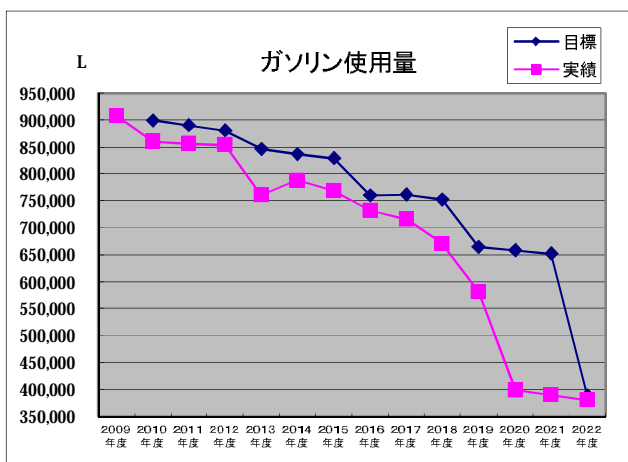
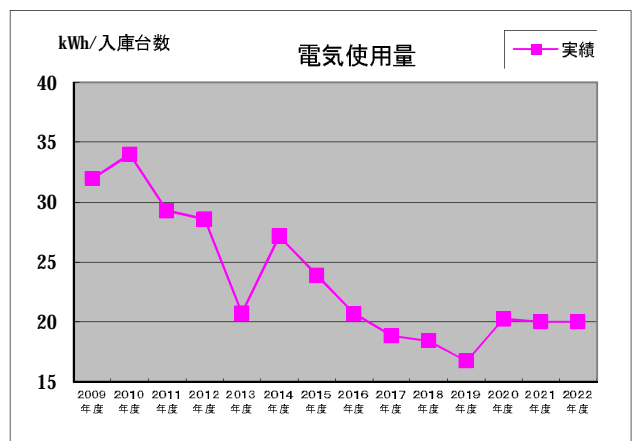
## 【6】近畿地区スバルグループ主要環境経営目標実績推移(2009年度～2022年度)

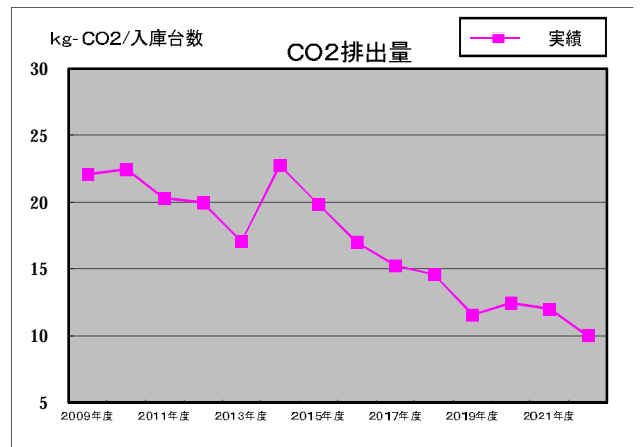
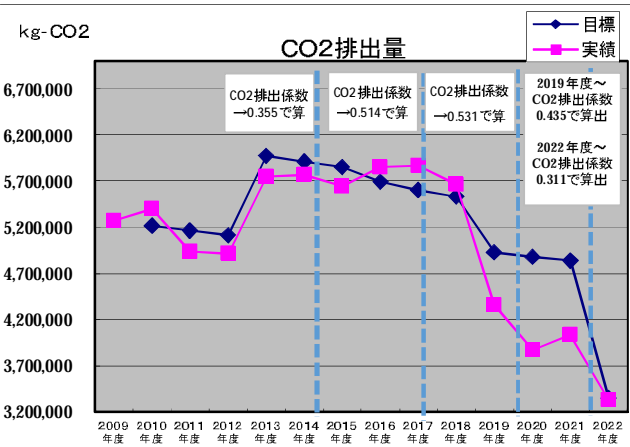
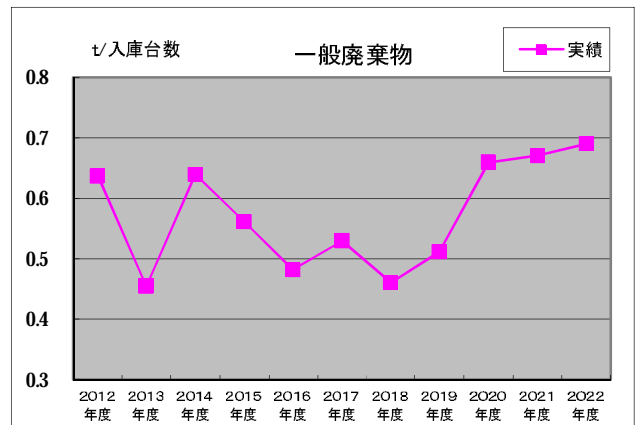
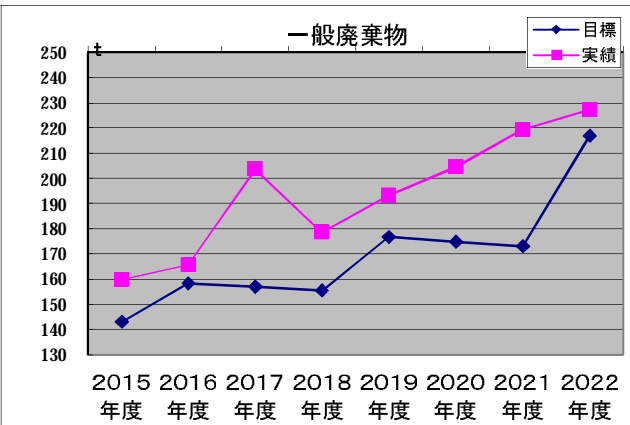
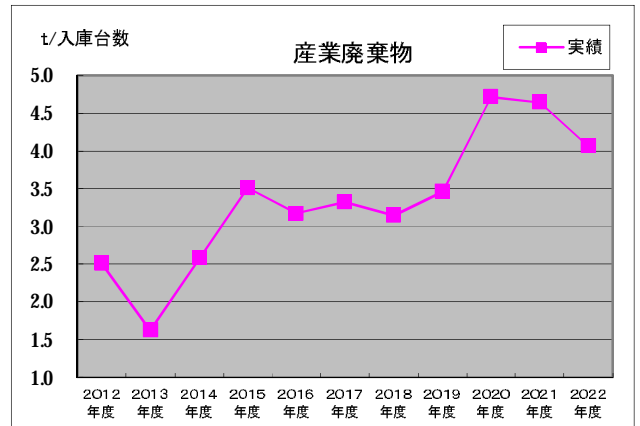
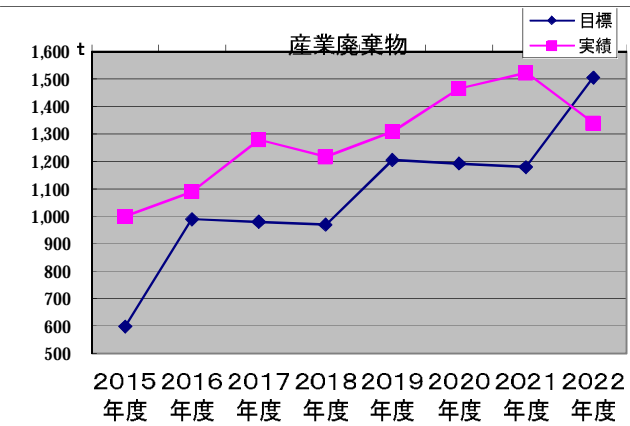
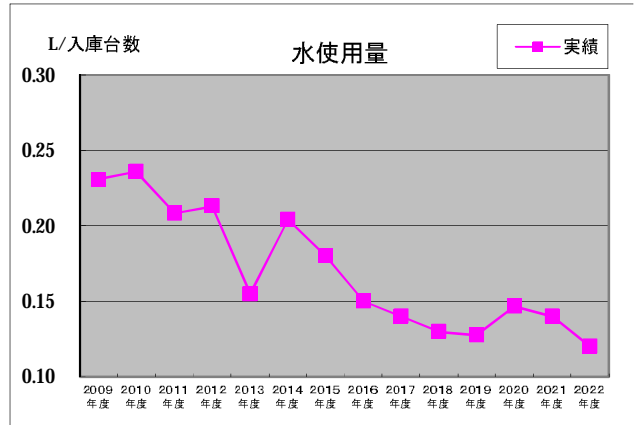
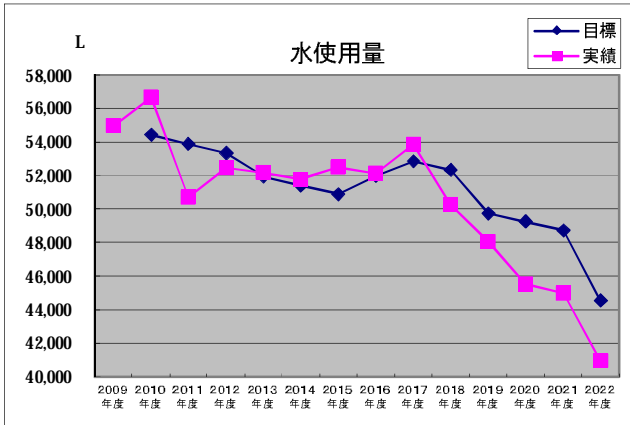


### 使用量総量の推移



### 原単位当たりの使用量実績推移





## 【7】2022年度環境経営目標取り組み結果と評価



### (1) 環境負荷低減に資する商品の提案販売推進

#### ①エコカー台数の拡大

2022年については、エコカー台数は前年を上回る結果となった。しかし構成比については前年度が40.9%であったのに対し今年度は38.6%と減少する結果となった。

#### ②点検パック付保率の拡大（車検時）

お客様の入庫時において点検パックの積極的な加入促進を図った結果、高水準の目標値を4.7%増の79.0%で達成し、入庫増、環境負荷低減に繋がった。

#### ③社会貢献活動による環境負荷低減

自動車専門学校へ定期的なメカニック講師の派遣、最新の整備についての講習を実施し、整備業界の魅力の提供を図り、将来の整備士人口の増大、将来的な整備不良車の低減、環境負荷の低減に貢献することができた。（2022年度メカニック採用実績：25名）

#### ④交通安全の普及

アイサイト付車の体感同乗の実施を近隣学校の職場体験においても実施予定としていたものの、コロナ感染拡大のため2022年度は中止となった。来年度以降も引き続き同活動は継続実施する方向。



### (2) 電気使用量削減

グループ全体として以下の取り組み等を推進した結果、目標値をクリアすることができた。使用量を総入庫台数1台当たり換算した台当たり使用量についても削減できており、一定の削減努力を示すことができた。

- ・稼働日の縮小（252日→250日）
- ・事務所、工場の照明や設備・機器の節電
- ・広告塔・外構照明・ショールームオープン時間短縮
- ・クールビズ（5月～10月）、本社間接部門エコビズ（11月～4月）運動の実施
- ・冷暖房室温管理の徹底（冷房28℃、暖房20℃）
- ・エアコンフィルターの定期的な点検・清掃の実施
- ・整備工場空調機新設及び更新（大阪：枚方パーク店 平野店 吹田店 豊中店 西店 岸和田店 住之江中古車 滋賀スバル：守山店 水口店 近江八幡店 兵庫スバル：西宮国道2号店 西宮171号店 鈴蘭台店 学園南インター店）
- ・シートシャッターの設置導入（大阪スバル：枚方店 東大阪店 八尾店 平野店 高槻店 茨木店 吹田店 豊中店 新大阪店 西店 帝塚山店 田辺店 住之江中古車 京都スバル：舞鶴店 滋賀スバル：守山店 水口店 近江八幡店 兵庫スバル：西宮国道2号店 西宮171号店 宝塚店 灘店 鈴蘭台店 学園南インター店 明石店 豊岡店）
- ・事務所・工場照明・その他設備LED化推進（大阪スバル：高槻店 豊中店 CS外環西浦 京都スバル：山科店 滋賀スバル：近江八幡店）

### (3) 燃料使用量の削減

CO2排出に多大な影響を及ぼすガソリンを中心に以下の取り組みを推進した結果、多くの燃料項目で使用量削減目標を達成することができた。

- ・TV会議・Web会議の活用強化による移動燃料を削減
- ・効率的な営業活動。納車、引取の有料化により来店型へシフト。
- ・社用車（代車、試乗車）の運行管理の徹底
- ・店舗毎のガソリン使用用途別管理の徹底
- ・個人別ガソリン使用量管理の徹底
- ・エコ安全5か条推進（ふんわりアクセル、早めのアクセルオフ、加減速少ない運転、余裕をもった車間距離、細やかな空気圧チェック）



(4) 水使用量削減

洗車、工場清掃、洗濯時等における節水配慮や節水型洗車機への入替をする等細やかな削減努力の結果、使用量総量、台当たり使用量ともに削減

- ・洗車、工場清掃、洗濯時の使用配慮等拠点節水意識の強化
- ・整備入庫時の洗車サービス有償化推奨
- ・店舗別使用実績管理の徹底
- ・門型洗車機入替時に節水タイプを導入（大阪:平野店 兵庫:鈴蘭台店 明石店）

(5) 産業廃棄物の削減

全社において分別再資源化、排出量削減に向け取り組む中、グループで削減目標を達成。入庫台数1台当たりの排出量についても達成することができた。

(6) 一般廃棄物の削減

実績および原単位評価ともに未達となった。特に紙類の使用量が増加しているため、TV会議・Web会議の活用強化、iPad、グループウェアの有効活用によりペーパーレス化を推進する。

(7) 化学物質使用量の削減

鉦金入庫台数は減少したが、無駄のない適正在庫管理や使用の徹底、メカニクの技術力向上により使用量を削減することができた。



(8) フロン排出抑制

店舗におけるエアコンについて日常的、定期的（年間4回：4.7.10.12月）に点検を実施し、効率的な使用とフロン漏洩防止に努めた。

(9) 環境関連法規、社内基準の遵守

一部店舗にて油水分離槽水質調査の結果、ノルマルヘキサン抽出物質含有量の基準値を超過する店舗があったため排水状況の確認をしたところ、異常使用は認められず、検査採水方法の手違いも想定されたが、念のため排水溝及び地中配管の高圧洗浄と油水分離槽の再清掃を予定。

(10) 環境に対する理解維持・強化

緻密なお客様対応が求められる中、環境意識の低下に繋がらないよう定期的な教育を実践していき環境意識の維持強化に努める。

(11) 二酸化炭素排出量の削減

まずは結果として2022年度もCO2削減目標を達成することができた。

目標達成の要因としては、CO2排出の主要な要因である燃料系の全てで削減できたことが挙げられ、各店舗での意識強化の成果が表れた。電気使用量については前年比100.9%と増加傾向にあるが、原単位当たりでの使用量では、一般廃棄物排出量以外の目標項目全てで削減努力が確認できたので、次年度以降についても、原単位レベルでの使用量削減にも着目しつつ、総量での削減を目指しCO2排出量の削減に取り組んでいく。



## 【8】 2022年度～2024年度環境経営目標



当グループは環境負荷が大きい《エネルギー使用量》の把握をし、削減活動に繋がります。削減目標を目標項目毎に毎年度1%に設定します。但し、ガソリンについてはこれまでの使用状況を考慮した目標設定とします。

- ・電力使用量の毎年度削減目標(大阪:△1.0%、京都:△1.0%、滋賀:△1.0%、兵庫:△1.0%)
- ・ガソリン使用量の毎年度削減目標(大阪:△0.5%、京都:△0.5%、滋賀:△0.5%、兵庫:△0.5%)

また、本来業務である整備業務において、環境負荷低減に繋がる営業活動を行います。

- ・点検パックの付保率(車検時)について各社別に毎年度1%向上

### (1) 環境負荷の状況及び環境目標

#### 【近畿地区スバルグループ】

項目	単位	基準年度 (2021年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				2022年度	2023年度	2024年度	
点検パック付保率(車検時)アップ	%	73.3%	+1.0%	74.3%	75.3%	76.3%	
電気使用量	kWh	6,681,470	-1.0%	6,614,655	6,547,841	6,481,026	
燃料	ガソリン	リットル	389,730	-0.5%	387,781	385,833	383,884
	灯油	リットル	2,514	-1.0%	2,489	2,464	2,438
	軽油	リットル	20,214	-1.0%	20,012	19,809	19,607
	LPG	m3	8,869	-1.0%	8,780	8,691	8,603
	都市ガス	m3	53,289	-1.0%	52,756	52,223	51,690
水使用量	m3	44,993	-1.0%	44,543	44,080	43,631	
産業廃棄物	トン	1,521.8	-1.0%	1,506.6	1,491.4	1,476.2	
一般廃棄物	トン	219.3	-1.0%	217.1	214.9	212.7	
化学物質	kg	192.0	-1.0%	190.1	188.2	186.2	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	4,038,038		3,181,965	3,154,394	3,126,822	

#### 【大阪スバル】

項目	単位	基準年度 (2021年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				2022年度	2023年度	2024年度	
点検パック付保率(車検時)アップ	%	70.9%	+1.0%	71.9%	72.9%	73.9%	
電気使用量	kWh	3,630,305	-1.0%	3,594,002	3,557,699	3,521,396	
燃料	ガソリン	リットル	173,683	-0.5%	172,815	171,946	171,078
	灯油	リットル	396	-1.0%	392	388	384
	軽油	リットル	3,068	-1.0%	3,037	3,006	2,976
	LPG	m3	158	-1.0%	156	154	153
	都市ガス	m3	21,654	-1.0%	21,438	21,221	21,005
水使用量	m3	24,323	-1.0%	24,080	23,824	23,581	
産業廃棄物	トン	704.4	-1.0%	697.4	690.3	683.3	
一般廃棄物	トン	75.5	-1.0%	74.7	74.0	73.2	
化学物質	kg	93.0	-1.0%	92.1	91.1	90.2	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	2,038,089		1,574,068	1,560,205	1,546,342	

#### 【京都スバル】

項目	単位	基準年度 (2021年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				2022年度	2023年度	2024年度	
点検パック付保率(車検時)アップ	%	70.9%	+1.0%	71.9%	72.9%	73.9%	
電気使用量	kWh	668,962	-1.0%	662,272	655,583	648,893	
燃料	ガソリン	リットル	35,874	-0.5%	35,695	35,516	35,336
	灯油	リットル	0	-1.0%	0	0	0
	軽油	リットル	4,298	-1.0%	4,255	4,212	4,169
	LPG	m3	8,503	-1.0%	8,418	8,333	8,248
	都市ガス	m3	19,407	-1.0%	19,213	19,019	18,825
水使用量	m3	3,585	-1.0%	3,549	3,513	3,477	
産業廃棄物	トン	175.8	-1.0%	174.0	172.3	170.5	
一般廃棄物	トン	25.6	-1.0%	25.3	25.1	24.8	
化学物質	kg	99.0	-1.0%	98.0	97.0	96.0	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	479,325		392,826	389,279	385,732	

【滋賀スバル】

項目	単位	基準年度 (2021年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				2022年度	2023年度	2024年度	
点検バック付保率(車検時)アップ	%	72.3%	+1.0%	73.3%	74.3%	75.3%	
電気使用量	kWh	657,933	-1.0%	651,354	644,774	638,195	
燃料	ガソリン	リットル	39,874	-0.5%	39,675	39,476	39,276
	灯油	リットル	1,357	-1.0%	1,343	1,330	1,316
	軽油	リットル	96	-1.0%	95	94	93
	LPG	m3	67	-1.0%	66	65	65
	都市ガス	m3	43	-1.0%	43	42	42
水使用量	m3	4,076	-1.0%	4,035	3,994	3,954	
産業廃棄物	トン	34.0	-1.0%	33.6	33.3	32.9	
一般廃棄物	トン	24.5	-1.0%	24.3	24.0	23.8	
化学物質	kg	—	-1.0%	—	—	—	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	382,915		298,781	296,230	293,680	

【兵庫スバル】

項目	単位	基準年度 (2021年度)	目標値 (毎年度)	目標			
				2022年度	2023年度	2024年度	
点検バック付保率(車検時)アップ	%	78.0%	+1.0%	79.0%	80.0%	81.0%	
電気使用量	kWh	1,724,270	-1.0%	1,707,027	1,689,785	1,672,542	
燃料	ガソリン	リットル	140,298	-0.5%	139,597	138,895	138,194
	灯油	リットル	761	-1.0%	753	746	738
	軽油	リットル	12,751	-1.0%	12,624	12,496	12,369
	LPG	m3	141	-1.0%	140	138	137
	都市ガス	m3	12,184	-1.0%	12,062	11,941	11,819
水使用量	m3	13,009	-1.0%	12,878	12,748	12,618	
産業廃棄物	トン	607.7	-1.0%	601.6	595.5	589.4	
一般廃棄物	トン	93.7	-1.0%	92.8	91.9	90.9	
化学物質	kg	—	-1.0%	—	—	—	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	1,137,710		916,290	908,680	901,069	

※CO<sub>2</sub>排出係数は、関西電力公表の実排出係数0.311kg-CO<sub>2</sub>/kWhにて算出。

※産業廃棄物は廃油、廃バッテリー、廃バンパーを含まない。

※化学物質はエチルベンゼン、トルエン、キシレンを対象としています。

兵庫スバル、滋賀スバルは钣金工場がない為目標値はない。







## 【9】2023年度環境経営目標及び環境経営計画

2023年度は、エコアクション21活動を含めた近畿地区共通のCSR活動を設定し、社会貢献活動の下、地域社会との繋がりをより深めていきたいと考えます。また社員の健康管理への配慮、コロナ感染防止対策の徹底も含めた健康経営優良法人の継続認定に向け、以下の取組みを実施してまいります。

### (1) 環境負荷低減に資する商品の提案販売、取組み推進

#### ①エコカー台数の拡大

燃費基準達成のエコカーについて、販売台数の拡大を図ります。(対前年比100%以上)

#### ②点検パック付保率アップ(車検時)

引き続きお客様のお車の車検入庫の際に点検パックの提案販売を推進し、整備不良による環境負荷増大を防ぎます。(2023年度:75.3以上を目指す)

#### ③社会貢献活動による環境負荷低減

自動車専門学校への定期的なメカニック講師の派遣、最新の整備についての講習を継続的に実施していき、整備業界の魅力の提供を図り、将来の整備士人口の確保に寄与したいと考えます。また、共通CSR活動として全店舗周辺地域での『クリーン活動』を実施し、ポイ捨てゴミ削減を目指した環境保護活動から、環境負荷の低減に繋げてまいります。

#### ④交通安全の普及

引き続き、地域の小・中・高生の職場体験学習を受入れおよびイベント会場でのアイサイト付車の同乗体感の経験等を通じて交通安全について学び環境負荷低減意識の醸成に努めてまいります。また、交通安全だけでなく地域社会貢献の一環として、『こども110番』に全店舗対象で参加してまいります。

### (2) 電気使用量削減

全社にて以下の取組みを実施し、使用量削減および目標達成を目指します。

- ・稼働日の縮小(248日)・ノー残業デー取組実施(月2日間)
- ・事務所、工場の照明や設備・機器の節電、広告塔照明・外構照明
- ・クールビズ(5月~10月)、本社間接部門エコビズ(11月~4月)運動の継続
- ・冷暖房室温管理の徹底(冷房28℃、暖房20℃)
- ・エアコンフィルターとエバポレーターの定期的な点検・清掃の実施
- ・整備工場空調機新設及び更新  
(大阪スバル:大東店 平野店 京都スバル:山科店 兵庫スバル:鈴蘭台店 三田店)
- ・シートシャッター設置による空間温度安定確保  
(大阪スバル:大東店 京都スバル:亀岡店)

### (3) 燃料使用量の削減

CO2排出に大きく影響するガソリンを中心に、以下の取組みを推進し、使用量削減に繋がります。又、効率的なキャリヤカーの使用による軽油使用量の削減や灯油、都市ガス、LPGガスについても引き続き使用量削減を目指します。

- ・TV会議・Web会議のさらなる活用強化による移動燃料の削減
- ・効率的な営業活動、納車・引取の有料化。
- ・社用車(代車、試乗車)の運行管理の徹底
- ・店舗毎のガソリン使用用途別、個人別ガソリン使用量管理の徹底
- ・エコ安全5か条推進  
(ふんわりアクセル、早めのアクセルオフ、加減速少ない運転、余裕をもった車間距離、細やかな空気圧チェック)

#### (4) 水道水使用量削減

以下の取り組みを継続推進することで使用量の削減を図ります。

- ・洗車、工場清掃、洗濯時の使用配慮等拠点節水意識の強化
- ・店舗別使用実績管理の徹底
- ・門型洗車機入替時に節水タイプを導入
- ・トイレ自動手洗いの導入推進

#### (5) 産業廃棄物の削減

以下の取り組みを推進し排出量の削減に繋がります。

- ・分別再資源化の取組みの徹底
- ・各社別、各店舗別の削減目標の設定と進捗管理
- ・廃バッテリー、廃アルミホイールの有償販売の推進

#### (6) 一般廃棄物の削減

紙の使用量については、引き続き TV 会議システム、Web 会議、i Pad での資料閲覧、グループウェアの活用によりペーパーレス化の徹底、また可燃ごみについても店舗努力を推進し目標達成を目指します。

#### (7) 化学物質使用量の削減

钣金塗装における水性塗料使用の定着化と無駄のない適正在庫管理の徹底、メカニックの技術力向上を図り、化学物質（エチルベンゼン、トルエン、キシレン等）の使用量削減を目指します。

#### (8) フロン排出抑制

店舗におけるエアコンについて、日常かつ定期的な点検を引き続き実施し、効率的な使用とフロン漏洩防止に繋がります。

#### (9) 環境関連法規制の遵守

環境関連法規制並びに環境に対する社内基準に未遵守がないよう取り組みます。

#### (10) 環境教育の実施

若年の店舗責任者や管理職、新入社員への環境教育を継続的に実施し、グループ全体の環境意識の底上げを図っていきます。

#### (11) 二酸化炭素排出量の削減

2022年度についても引き続き、特にCO2排出に大きな影響がある電力や燃料系ガソリンについて注力しながら、上述の基本的な取組みを継続的に実施していくことで、総使用量の削減およびCO2排出量の削減を目指し、併せて総量での削減のみならず、原単位レベルでの使用量削減にも着目し、近畿地区スバルグループ全体のCO2削減に取り組んでまいります。特に昨今の世界的なエネルギー系の価格高騰が必至とされることから、必要最小限でのエネルギー系（電気、ガス、水道、ガソリン）の使用に注力していきたいと考えます。



## 【10】環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### (1) 適用となる主な環境関連法規

主な適用法規	要求事項	遵守 チェック
水質汚濁防止法	自動車自動洗浄装置の届出	○
下水道法	排水施設の設置義務 自動車自動洗浄装置の届出 油水分離槽水質検査の実施	○
廃棄物処理法	廃棄物の適正処理とマニフェストの交付 マニフェスト交付状況報告書の提出 廃棄物処理業者との委託契約 特別管理産業廃棄物（バッテリー）の適正保管・処理	○
消防法	少量危険物貯蔵所の届出 緊急事態対応訓練の実施	○
騒音規制法	コンプレッサ・送風機の届出	○
振動規制法	コンプレッサ・送風機の届出	○
P R T R法	指定化学物質（キシレン、トルエン等）の基準値以上の取扱量の場合に行政に報告	○
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理	○
フロン排出抑制法	第1種特定製品の点検	○
P C B廃棄物特措法	P C B廃棄物（変圧器）の適正保管・処理	○
労働安全衛生法	健康障害防止対策、安全衛生委員会設置・運営 ストレスチェックの実施、リスクケアアセスメントの実施	○
地球温暖化対策条例等	アイドリングストップ、温室効果ガス排出抑制、エコドライブ推進	○

### (2) 違反、訴訟等

当グループ各社における環境関連法規への違反はありません。  
尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 【11】代表者による全体評価と見直し・指示の結果

CO<sub>2</sub>排出量への影響度が大きい電気の使用量、ガソリンを中心とした燃料使用量について削減努力を続けてきた結果、総量・原単位での削減目標をクリアすることができ、今年度もCO<sub>2</sub>排出量目標達成に大きく寄与することになりました。

一方で、コロナ禍で制約を余儀なくされてきたことから結果的に繋がったことも否めません。全体では一部項目においてもまだまだ課題が残る中ですが、社員全員の環境負荷意識をさらに深め、引き続きお客様の安心安全を確保しながら総量での使用量削減のみならず、原単位での使用量管理の徹底を図り、近畿地区スバルグループ全体で環境負荷削減に取り組んでまいります。

実施日 2023年 7月 1日

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	
環境経営目標及び計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり	
実施体制他	<input type="checkbox"/> 変更なし	<input checked="" type="checkbox"/> 変更あり	人事異動により体制を見直すこと